

製品名: Vav2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19743**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000 |
| 分子量 | 101kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | VAV2 |
| 別名 | VAV2; Guanine nucleotide exchange factor VAV2; VAV-2 |
| 遺伝子 ID | 7410.0 |
| SwissProt ID | P52735 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト VAV2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 108-157 |

背景

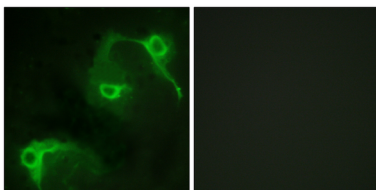
VAV2 は、がん遺伝子である VAV グアニンヌクレオチド交換因子ファミリーの 2 番目のメンバーです。造血細胞でのみ発現する VAV1 とは異なり、VAV2 の転写産物はほとんどの組織で発見されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選

択的スプライシングを受けた転写産物バリエーションがみつかっています。[RefSeq 提供、2008 年 8 月],機能: Ras 関連 GTPase の Rho ファミリーのグアニンヌクレオチド交換因子。類似性: CH (カルボニン相同) ドメインを 1 つ含む。類似性: DH (DBL 相同) ドメインを 1 つ含む。類似性: PH ドメインを 1 つ含む。類似性: ホルボールエステル/DAG 型ジンクフィンガーを 1 つ含む。類似性: SH2 ドメインを 1 つ含む。類似性: SH3 ドメインを 2 つ含む。組織特異性: 広く発現している。、

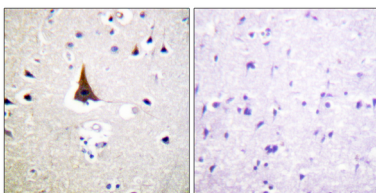
研究分野

アクチンダイナミクスの制御; AMPK

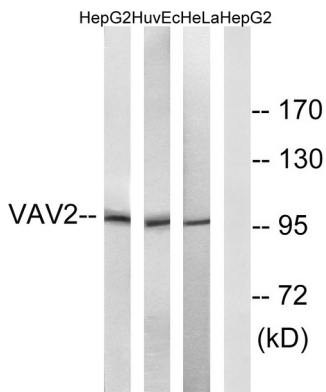
画像データ



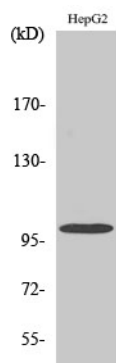
VAV2 抗体を用いた COS7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



VAV2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



VAV2 抗体を用いた HepG2 細胞、HUVEC 細胞、および HeLa 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



Vav2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。